

郷蔵米 通信

3月号
2018

先月2月25日、30年度のお米の予約会がありました。今年もかろうじて会が開けたことはとても有難い事です。昨年を振り返り、お客さまからの苦情にきちんと対応するため話し合いました。

カメムシ被害米の苦情を受けて、4年前に導入した色彩選別機。以来、お米は機械に1回かけてカメムシ被害米などをはじいていました。しかし選別機の精度は9割。それに加えてカメムシの異常発生。どうしても混じってしまいます。そこで、今年には被害のひどいものだけ2回選別機にかけることにしました。時間も労力もかかるので、生産者でもあるライスセンターの笹保さんは大変です。負担がかからないよう他の生産者と協力していきます。40歳で無農薬米の生産を始めた会長の清水唯義さんは今年で70歳。郷蔵米と共に歩んできた30年……なんて懐かしむ気持ちはまだまだ先のこと。今年はずっとよいお米を皆さまに届けられるよう、そしてそのことは、この地域を、安全な土地を守り続けることに他ならないと、粘り強く語り、会を締めたのでした。

佐見稲作研究会 <http://gougura.main.jp/>

待ちに待った春!! はる!! ハル!! 春~!!!!
みなさんいかがお過ごしでしたか?
ふきのとうはもう食べましたか?
天ぷら最高! ふき味噌もご飯に合う!
郷蔵米がいつもよりおいしく感じます~
さあ! いよいよ田んぼも始まりますよ~!!!



2月に行われた予約会。消費者グループ代表の方々と



2018 田んぼ スケジュール



今年こそは
良い天気
に恵まれますように

- 5月27日(日) 田植え 熊崎 祝さんの田んぼ
- 6月24日(日) 草取り ほうば寿司作り体験もできます
- 9月16日(日) 稲刈り 安江 利之さんの田んぼ 午後は栗拾いも
- 11月11日(日) 収穫祭 芋掘り体験もできます

アイガモ
あれこれ

中部国際空港までお迎えします

千葉県で生まれるアイガモの雛。今までは配達業者が佐見まで運んでくれましたが、今年には業務の廃止につき、成田からセントレアまでは空輸で来ますが、そこからは自分たちで引き取りに行かなければいけなくなりました。運転に気を使いますね。

なんでもできる生産者の田中さん!!

なんと、アイガモ3羽分の毛(首と胸)を使って、ダウンのズボンを作りました! とても暖かいとのこと。カモも思い残すことはないでしょう。



@sato_kuranosuke も見てね!

